

鑄造工程に特化した新工場稼働のお知らせ

株式会社 JMC（本社：神奈川県横浜市港北区新横浜、代表取締役 CEO：渡邊大知）は、2017年に着工したコンセプトセンター（長野県飯田市、鑄造工場）新棟の建設工事を完了し、稼働開始したことをお知らせ致します。この度、建設した新棟には鑄造工程の大部分を移設し、当社が考える「次世代型 フラッグシップファクトリー」を実現すべく、鑄造工程の大幅な生産能力向上と、定量的な生産管理システムを導入しています。

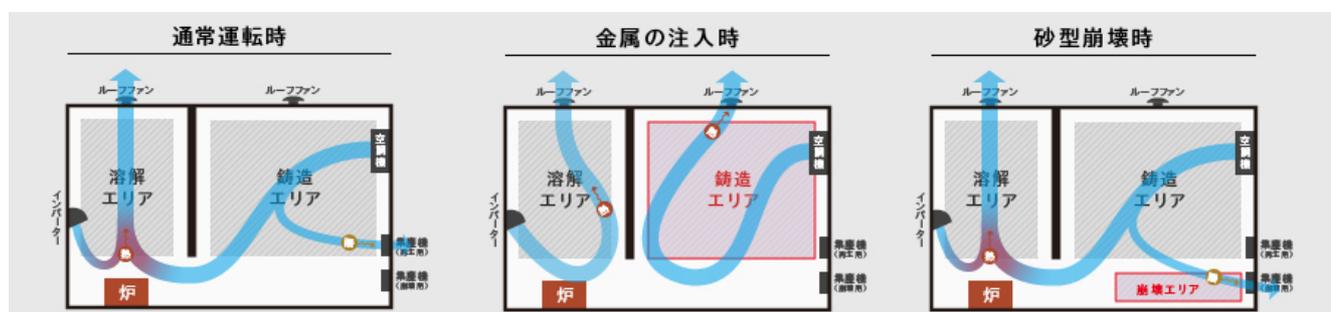
1. 鑄造工程の生産能力の向上

鑄造エリアの面積を拡張し、砂型造形ミキサー1基と溶解炉1基、仕上げのための周辺設備などを増設することで、作業動線の改善と生産キャパシティの向上を実現しています。また溶解炉設置のためのピットを最大8基分（旧鑄造エリアと合わせて最大13基分）を備えるなど、将来的な大幅な設備増強に対応することが可能になりました。

2. 全館自動空調設備の導入

全館自動空調設備（作業内容ごとの3種類の空調モード含む）と本社からの作業環境管理を可能とする設備を導入しています。これにより、温度や湿度などの環境により影響を受けていた鑄造工程の標準化が進み、品質管理と稼働効率の向上を見込んでおります。また一般的に3K（きつい、汚い、危険）と言われていた鑄造現場の環境改善も実現します。

空調動作イメージ



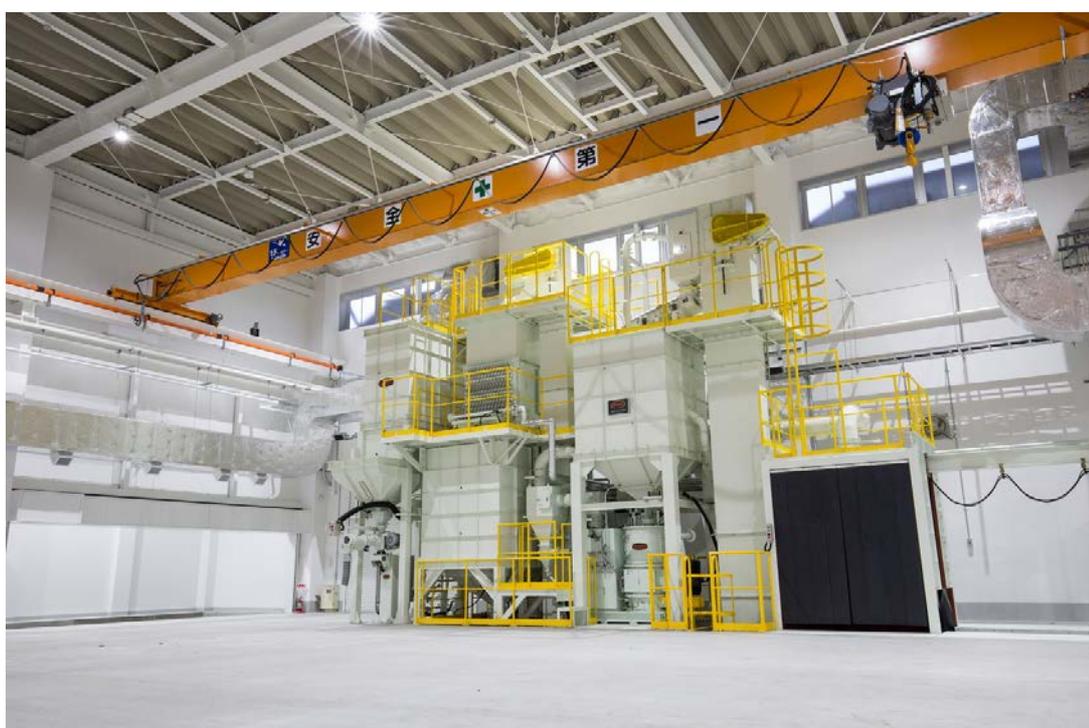
3. 鑄造品質の管理体制の強化

今回の建屋には、2018年1~3月期にGE センシング&インスペクション・テクノロジーズ株式会社製マイクロフォーカスCT「phoenix v|tome|x m」の設置も予定しており、鑄造後すぐに形状測定や内部品質の検査を行うことで、品質改善速度の向上や、不良率の低減を見込んでおります。また先に導入している発光分光分析装置（PDA-7010）による合金成分の検査や、精密万能試験機（オートグラフ AG-50kNX）による強度測定と合わせて、JMC が提言する多角的な品質管理体制の構築に努めてまいります。

工場拡張の概要

- (1) 名称 コンセプトセンター第5期棟（鑄造棟）
- (2) 住所 長野県飯田市嶋 134 番地 他
- (3) 敷地面積 4,100.68 m²
- (4) 延床面積 1,397.93 m²
- (5) 主な生産工程 鑄造、仕上、検査

<ご参考>コンセプトセンター 新鑄造棟





— 会社概要 —

【株式会社 JMC】

会社名 : 株式会社 JMC

所在地 : 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-5 住友不動産新横浜ビル 1F

代表者 : 代表取締役 CEO 渡邊大知

設立 : 1992 年 12 月 18 日

URL : <https://www.jmc-rp.co.jp/>

事業内容 : 3D プリンターおよび砂型鋳造による試作品、各種部品・商品の製造、販売
産業用 CT の販売および検査・測定サービス

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社 JMC 広報担当

TEL: 045-477-5757 FAX: 045-471-5270 E-MAIL: jmcltd@jmc-rp.co.jp